

2024年12月19日

ADK マーケティング・ソリューションズ、「ゲーム総合調査レポート 2024」を発表 ～最新のゲーム市況の把握から、ゲームプレイヤーの行動・心理の分析まで網羅～

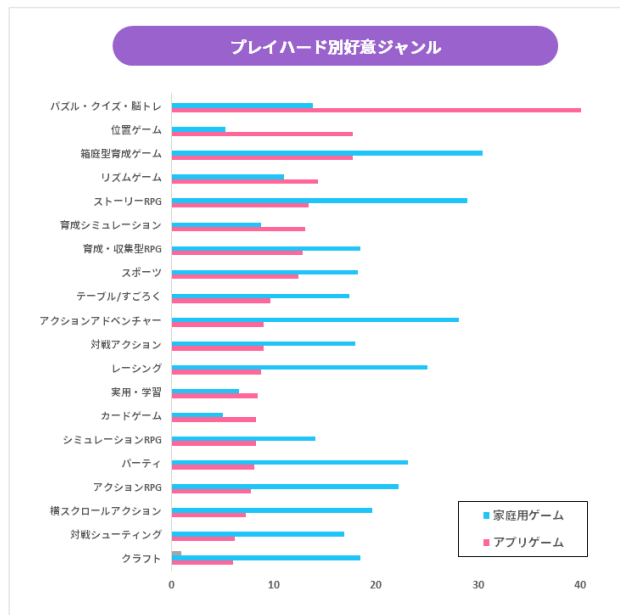
株式会社ADK マーケティング・ソリューションズ(本社:東京都港区、代表取締役社長:大山 俊哉、以下「ADK MS」)は、定量調査を用いて、ゲームプレイヤーの心理・行動を分析し、分かりやすく彼らの実態を可視化した「ゲーム総合調査レポート 2024」を作成しました。

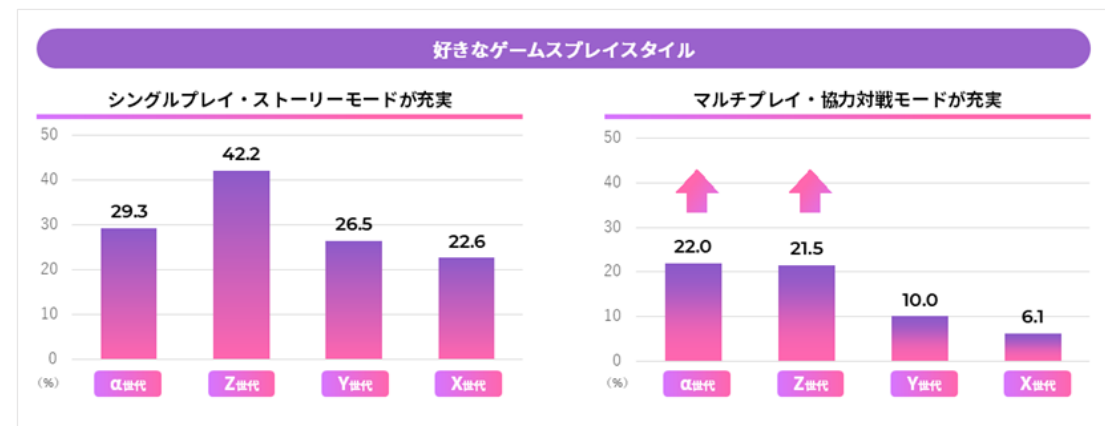
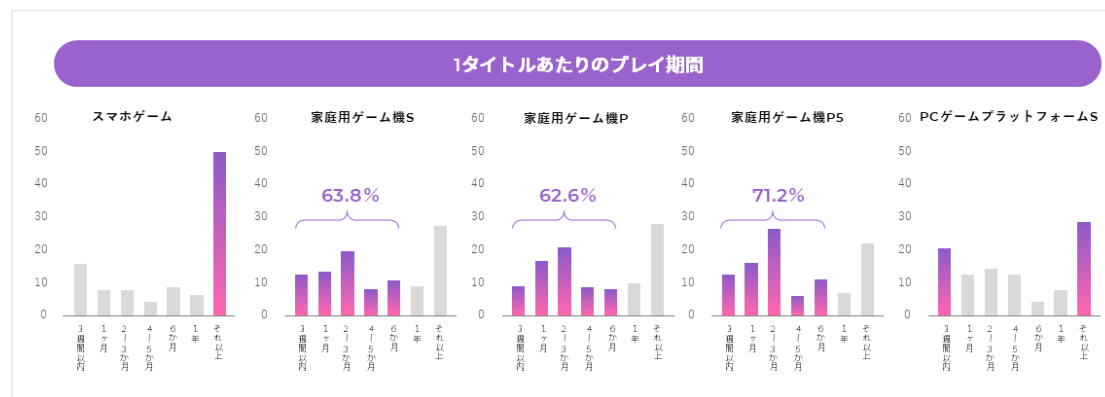
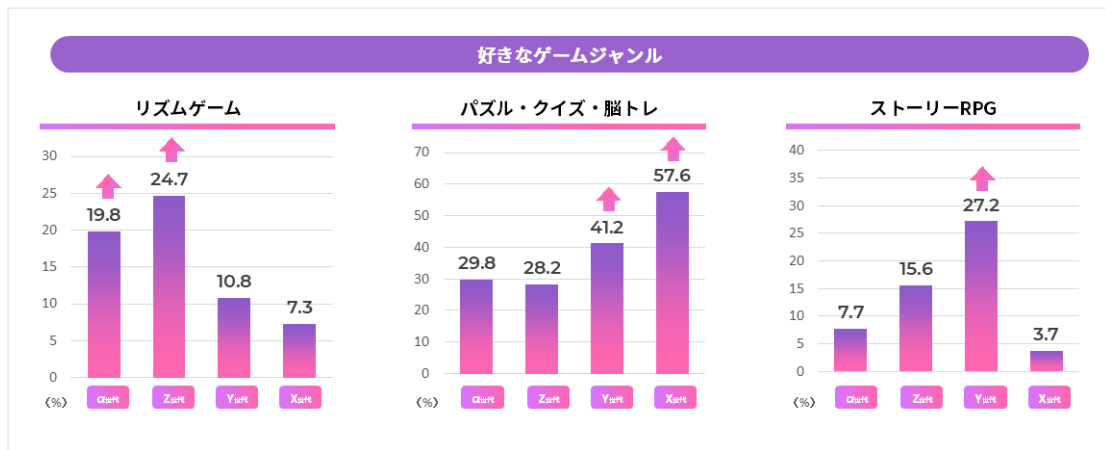
昨今、国内総人口の3分の1がゲーマーと言われるゲーム市場において、ゲームのジャンルやゲームプレイヤーの価値観の多様化が進んでおり、「ゲームプレイヤーが何を求めているのか」というニーズが掴みづらいという状況です。そこで当社は、これからのゲーム市場を攻略する“ヒント”を様々な視点で掘り下げました。この調査レポートは 最新のゲーム市況の把握から、ゲームプレイヤーの行動・心理の分析まで網羅しています。

■調査分析結果(一部抜粋)

1. 俯瞰で捉えた「ゲームプレイヤーの実態」

ゲームハードの所有ボリュームや主要タイトルのプレイ状況等を把握し、ゲームプレイヤー全体のトレンドを捉えるパート。また、若年層から中年層までの世代別でのゲームの嗜好性・価値観も併せて観測し、彼らと向き合うためのヒントを探りました。





2. 行動・心理で捉えた「ゲームプレイヤーの多様性」

多様化するゲームプレイヤーの意識や行動を探るにはどうすればいいのか。様々な探索手法がある中で、私たちはゲームプレイヤーの“具体的な人物像・集団”を明らかにした上で、ニーズ/インサイトとビヘイビアを分析するアプローチ手法をとりました。

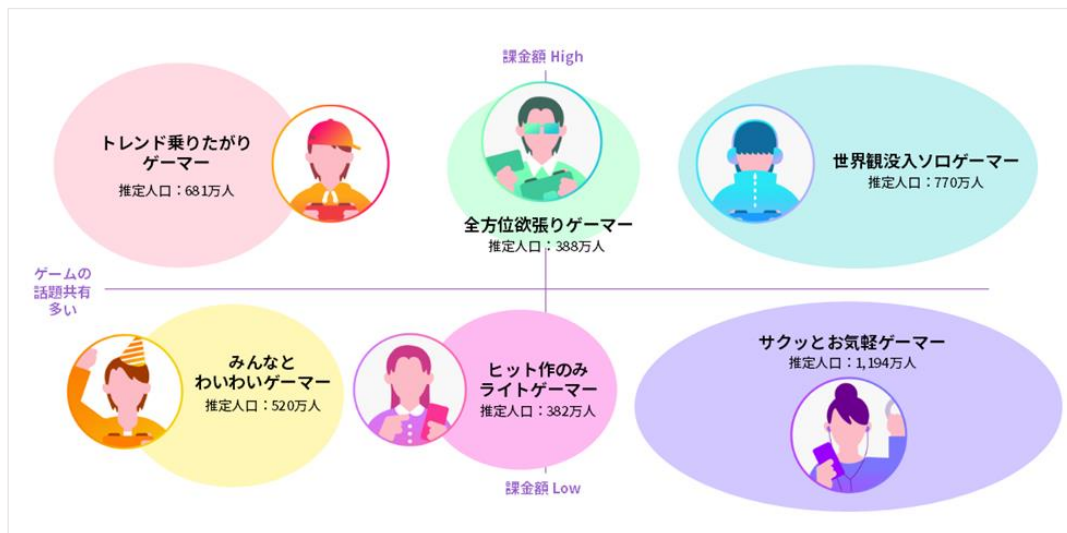
＜ゲームプレイヤー間の主要ニーズ/インサイト＞

ゲームへのかかわり方は「5つのニーズの組み合わせ」で決定づけられていることがわかり、ニーズの傾向によって「複数のクラスター」を設計しました。



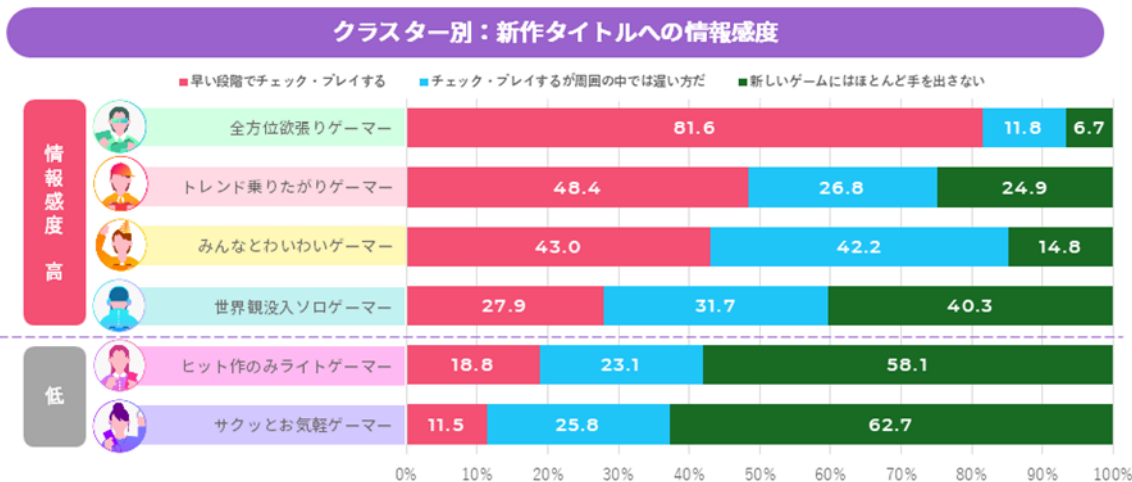
＜ゲームプレイヤークラスターの市場分布＞

ゲームプレイヤーを6つのクラスターに分類し、それぞれ異なる価値観や特徴を捉えました。



＜各クラスター横断のファインディングス＞

新作タイトルへの情報感度は二分化傾向があります。“全方位欲張りゲーマー”が最も新作タイトルに敏感で、“トレンド乗りたがりゲーマー”“みんなとわいわいゲーマー”が続く。一方、“ヒット作のみライトゲーマー”・“サクッとお気軽ゲーマー”の半数以上はそもそも新作ゲームに興味を示さない結果に。



3. ゲームプレイヤーに対する「アクション・攻略視点」

ゲーム市場の動向・世代別の傾向、そしてゲームクラスター分析を通して多様化する価値観・行動を観測した中、実際のゲームプレイヤーに向けて、具体的にどうアクションを起こすのかを、クラスターの観点を活かし、主要ゲームジャンルごとのゲームプレイヤー向けのアクション・攻略視点について迫ります。

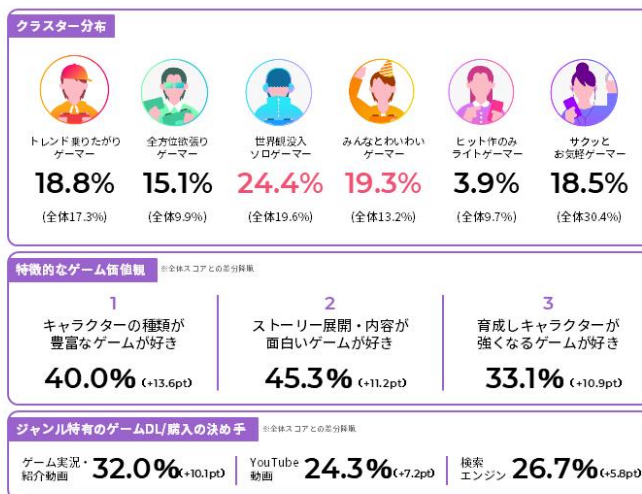
・主要ゲームジャンル(5つ)・要素ごとのプレイヤーを対象に、彼らの攻略の糸口に迫り、各プレイヤーの中にある“クラスターの傾向”を踏まえて攻略法の検討を実施。

RPGプレイヤー 育成シミュレーションプレイヤー ロケーションプレイヤー アクションシューティングプレイヤー ストラテジープレイヤー

主要ゲームジャンル・要素ごとのプレイヤーを対象に、彼らの攻略の糸口に迫る。その際、各プレイヤーの中にある“クラスターの傾向”を踏まえて攻略法の検討へ。



ジャンル別分析：RPG



ADK MS は、「ゲーム総合調査レポート 2024」を通じて、今後もクライアント企業のマーケティング活動を支援していきます。

※1 4つの世代に分けて分析。

- ・α世代：2011-2017 年生まれ
- ・Z世代：1996-2010 年生まれ
- ・Y世代：1981-1995 年生まれ
- ・X世代：1965-1980 年生まれ

<ADK ゲームエンタメカテゴリーチーム>

当社は多くのゲーム/エンターテインメント企業様との日々のお取引を通じ、豊富な対応実績を有しています。業界カテゴリーを熟知するプランナー/クリエイターが、コミュニケーションのみならずマーケティングやブランド、事業の観点からクライアント様の課題解決からビジネスインパクトに貢献する最適なソリューションをご提案いたします。

<株式会社 ADK マーケティング・ソリューションズ>

マーケティング領域全般における統合的なソリューションをフルファンネルで提供。2021年に始動した事業ブランド「ADK CONNECT」がフラッグシップとなり牽引するデジタル&データドリブン・マーケティング領域では、専門性の高いスペシャリストが組織横断で集結し、クライアントのビジネス成果に貢献する「価値ある顧客体験」をご提案します。

・ADK MS ウェブサイト <https://www.adkms.jp/>

・ADK のいまが分かる。アイデアが広がる。コラムコンテンツ「ADK TIMES」更新中。

<https://www.adkms.jp/company/column/>

本件に関する問合せ先

株式会社 ADK マーケティング・ソリューションズ

マーケティングインテリジェンス本部 和久井/稲垣/高橋/林

株式会社 ADK ホールディングス

経営企画本部 PR・マーケティンググループ 根岸/丸山 e-mail:mspr@adk.jp